

球春到来！テレビでもカーブが取り上げられ大盛り上がり。今までにないドキドキ♪わくわく♪の春を迎えています♪皆さんはどんな春をお迎えですか？

2月に定例会を兼ねた一日セミナーがありました。午前は長崎能力開発センターでの取り組み発表、午後が大阪の小学校で養護教諭をされている多田直子さんの講演「思春期・青年期の心と人間関係」でした。

障がい者の異性との対人教育プログラム ～長崎能力開発センターでのからだ探検隊～

長崎大学医学部保健学科の学生さんとともに青年期版のプログラムを作成・実施後、能開職員による探検隊を実施していることについての発表。

<長崎能力開発センター職員によるからだ探検隊>

全体での実践 ・ステキな大人って（9月20日・27日）

・恋するキモチ（11月8日）

夕方の実践 ・1つのプログラムを30分～60分の時間で行う

・10月から毎週実施

個別での実践 ・全体の流れについてこれられない訓練生に行う（問題行動があった人にも）

・職業・生活訓練者と話し合い実施

・その人に合った内容でゆっくりとした学習

- ・プライベートゾーンや安心できる距離などの基本的な学習に加え、「好き」という気持ちには恋愛感情が含まれるものとそうでないものがあること、ふれあいには段階があることなどの恋愛に関する内容の学習も行う。
- ・センターは全寮制。一人部屋だがなかなか一人になる時間がなかった。探検隊後、「プライベートタイム」を導入。半数以上が利用している。
- ・共通理解できる言葉ができたことで、支援がしやすくなった。男女の距離感について意識ができていた。マナーや体に対する相談を同性の職員にできるようになった等が実践後の変化として挙げられた。



質疑応答で、「マスターベーションをスケジュールに入れた方がいいかどうか？」ということが出され、パターン化されたことを崩すことは大変難しい。就職を考える場合は「自宅で必ずできる時間帯」（仕事中はできないため）と決めるといいのでは？というアドバイスがあったことや、その他「性の事を特別に取り上げるより前に、小さい頃からスキンシップや入浴などを通して清潔にすることや、からだの大切さを教えていくことが大切だ」と思うというお話が今回とても印象に残っています。

◎分科会に関する詳しい報告はHPにあります。



思春期・青年期の心と人間関係

講師 多田直子（公立小学校養護教諭）

「性と生の学習」（私のいのち（心とからだ）を大切に、よりよく生きるための学習）を思春期学習と位置付けて行っているそうで、その学習について、模擬授業を交えて具体的にわかりやすく話してくださいました。参加者の方から「子どもとの向き合い方がしっかりされていて、一つ一つ段階が組まれているので子どもの心にスッと入るのかなと強く感じた」や「子ども理解を組織化する・・・大切なことでそれができるといいと思った」などの感想が寄せられました。

<定例会のお知らせ>

5月16日（土）の予定です。今回はDVD「発達障害のある人のためのワークショップ」の視聴と近況報告や悩み相談などの「おしゃべり会」を考えています。